

練馬の空き店舗活用事業 2
 ハラスメントなくそう 3
 工事中の壁がアートに 4



都振連、商店街で働く603人に聞く
「DX導入必要」6割

費用負担ネックも 後継者不足解消など期待

東京都商店街振興組合連合会が、都内の商店街にある事業所に働く603人に意識調査をしたところ、「商店街にDXを導入する必要がある」と思う人が6割いることが分かった。後継者不足解消や販路拡大にDXを活用できないかと期待していること、一方で費用負担や苦手意識を感じていることも浮かび上がった。

調査は、「商店街でのDXの認知度はどれくらいか」「DXによって商店街が抱える課題は解決できそうか」といった問題意識から実施したもの。

8月にウェブアンケートで実施し回答した

603人は男女半々、7人に意味も知っていないかを問うと、65%は「知っている」とした。調査をしたところ、DX(デジタルトランスフォーメーション)の認知度は、業種別にクロス集計してみると差がある。聞いたことがあるという人の割合は、小売りが35%、「飲食」が25%などに対し、「サービス」では70%と高かった。

一方、これからの商店街運営にDXの導入が必要かと思うかという質問には、「必要」と答えた35%に対して、複数回答で「必要」だと回答した。

ではDXでどんなことが実現したら良いと思うかを問うと、複数回答で多い順に「高齢化による後継者不足の解消や事業継承」(43%)、「販路拡大」(40%)、「商店街として

なぜ「ディーエックス」?
 英語ではTrans(接頭語)をXと表現する習慣があり、略して…
 Digital Transformation
 ↓
 Digital X-formation
 ↓
 DX
 Transには「超えて」「別の状態へ」の意味があり、DXはデジタル技術を用いて今までの仕組みなどを変革することを表す

シモキタに満月 連合会がアートフェス開く

小田急線・井の頭線の北線路街の空き地に、周辺の6商店街で構成された下北沢商店街連合会と小田急電鉄などが主催した。昨年に続き2回目。

フェスの目玉は「下北沢路街の空き地に吊るされた、ルック・ジェラムさんによるNASAの月面写真をそのまま使ったインスタレーション。直径が7メートル、高さ1メートルの大きな満月だ(写真)。

日没後、淡く光りだすと、迫力がありながらも幻想的で格好の映えスポットに。ウサギ耳のカチューシャを着けた若い女性のグループやカップル、親子連れなどが、降りてきた満月を背景に自撮りを楽しんでいた。

周辺の6商店街で構成された下北沢商店街連合会と小田急電鉄などが主催した。昨年に続き2回目。

フェスの目玉は「下北沢路街の空き地に吊るされた、ルック・ジェラムさんによるNASAの月面写真をそのまま使ったインスタレーション。直径が7メートル、高さ1メートルの大きな満月だ(写真)。

日没後、淡く光りだすと、迫力がありながらも幻想的で格好の映えスポットに。ウサギ耳のカチューシャを着けた若い女性のグループやカップル、親子連れなどが、降りてきた満月を背景に自撮りを楽しんでいた。

東京都 インボイス対応へ 専門家派遣で中小支援

消費税のインボイス(適格請求書)制度が10月から始まったことに伴い東京都は、都内の中小企業者に各種専門家を派遣して対応を支援する。

例えば「免税事業者を選択したが、取引の打ち切りや受取代金の減少が発生。新規顧客

開拓の相談に乗ってほしい」「課税事業者に移行したので、税金分を販売価格に適切に転嫁したい」といった、こうしたインボイスに対応する際に起るさまざまな経営課題に、中小企業診断士などの専門家を無料で派遣して解決をサポートする。

経営改善に向けたインボイスは1社当たり最大4回まで。支援インボイスについては複数の専門家が対応することも希望に応じオンライン対応もできる。

東京都中小企業振興公社が設置する「ワンストップ総合相談窓

各組合の現況は? 都振連 11月中旬から調査票発送

東京都商店街振興組合連合会では毎年、振興組合と区市商店街振興組合連合会を対象に「商店街実態調査」を行っており、今年も11月中旬から調査票を商店街へ発送する。

調査内容は、理事長や事務所の連絡先、組合員や理事の人数に変更がないかなどの基礎情報。ホームページのほかにInstagramやYouTubeなどのSNSを開設しているかも確認する。

また総会の開催状況や、組合の運営について定款変更など都振連に相談したいことがないかも確認する。

さつに今回は、街路灯、カラー舗装、防犯カメラ、Wi-Fi環境、AEDなど、組合員が保有している設備に何かがあるか、過去の調査時から変化がないかを確認する。

「商店街ニュース」で紹介したい組合の活動やイベント、また都振連への意見と要望について自由記述欄も設けてある。

組合によって事業年度が異なるため、まずは事業年度末が3月31日から9月30日までで、当たる組合と、区市振連へ先に調査票を発送する。

回答は同封の返信用封筒を使って、都振連(03-3542-0231)へ。期限は2024年2月29日。

と支援対象になる。支援の申し込みは2024年1月31日まで。派遣は決定後3月29日まで。

問い合わせは公社(03-3542-1788)へ。申し込みはサイト(QRコード)から。



山田理事長(中央)に調査結果を報告する委員ら

令和5年度 商店街ステップアップ応援事業

TOSHINREN-information

商店街の活性化 サポートします!

派遣費用 **無料**

たとえば 下記のような相談に対して 支援・アドバイスいたします

- 売上アップやにぎわい増につながるイベント
- 商店街の会計処理・補助金などの資金周り
- キャッシュレス・ホームページ導入などIT化
- 多言語化・おもてなしなどインバウンド対応
- 障がい者・高齢者用サイン表示や休憩スペースの設置
- 加入促進・若手の活躍など組織運営
- 商店街の中長期的なありかた・ビジョン
- 来街者に安心・安全な商店街づくり
- 地域と連携した、街の活性化への景観づくり
- 再エネ・省エネ

支援のながれ

お申し込み → 事前打ち合わせ → 日程調整 専門家手配 → 専門家による 支援の実施

WEBにて ご案内

専門家の派遣は一つの相談に対して原則5回、最大10回までです。

随時受け付け中 → 東京都商店街振興組合連合会/ステップアップ事務局 ☎03-3547-3787